

7. 総合計画と戦略計画の違い

比較表(1/3)

	従来の総合計画	新しい戦略計画
①策定方法	<ul style="list-style-type: none"> ●ボトムアップ ●総花的に課題を列挙する 	<ul style="list-style-type: none"> ●トップダウン (ミドルアップ・トップダウン) ●SWOT分析などにより、選択と集中を図る
②政策目標の提示方法	<ul style="list-style-type: none"> ●数値目標等の形で具体化されず、スローガンにとどまる 	<ul style="list-style-type: none"> ●展望(ビジョン)と数値目標を明確に提示
③組織との関係	<ul style="list-style-type: none"> ●計画と組織が明確にはリンクしない <ul style="list-style-type: none"> ✓ 政策体系と組織体系とは必ずしも整合しない ✓ 政策や施策に関する(目標達成)責任の所在が不明確 	<ul style="list-style-type: none"> ●計画と組織がリンクする <ul style="list-style-type: none"> ✓ 政策体系と組織体系はある程度整合性をもつ(目的・成果に基づく組織編成を行うことにより) ✓ 政策や施策に関する(目標達成)責任の所在が明確

1

比較表(2/3)

	従来の総合計画	新しい戦略計画
④資源制約の考え方／掲載される施策や事業の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ●資源制約を考慮しないため総花的・網羅的に施策や事業が掲載される ●掲載されているメニューが実行されるとは限らず、計画としての実行性は必ずしも高くない 	<ul style="list-style-type: none"> ●資源制約を踏まえて、戦略的に目的・成果が選択され、それに基づき施策や事業のメニューが提示される ●掲載されているメニューに基づき施策や事業を実行する
⑤施策や事業の括り／政策-施策-事業の体系	<ul style="list-style-type: none"> ●行政の視点でみた「分野」や「制度」による括り ●[目的-手段]が必ずしも論理的に連鎖していない 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の視点でみた「成果」による括り ●目的・成果に基づき、[目的-手段]が論理的に連鎖する階層構造となっている

2

比較表(3/3)

	従来の総合計画	新しい戦略計画
⑥策定後の運用	<ul style="list-style-type: none"> 策定後の進行管理は形式的にならざるを得ず、進行管理の結果を資源配分や事業編成などに反映させるような運用は行われない 	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標を設定しているため、業績測定(進行管理)が可能 業績測定(進行管理)の結果を、資源配分や事業編成に反映させる「マネジメント」を行うことが可能
要するに…	マネジメントを 意識していない	マネジメントを 意識している